領収書等貼付用紙

2023 年度分	整理番号	2

領収証　岸田敦子　様　No.

★ ¥24,750-

但　議会報告　No.157　4500枚

令和5年　5月　26日　上記金額正に領収いたしました

内訳	
税抜金額	円
消費税額等（　%）	円

収入印紙

印刷・はがき・オフセット印刷全般
ゴム印・各種印鑑・パソコン入力代行

プリントムツ[redacted]

〒574-0072 大阪府大東市深野4-5-8
TEL 072-871-[redacted]
FAX 072-873-1329

経費の範囲

- □調査研究費
- □研修費
- ☑広報費
- □広聴費
- □要請・陳情活動費
- □会議費
- □資料作成費
- □資料購入費
- □通信交通費
- □人件費
- □事務所費

使途項目

- □交通費
- □宿泊費
- □自動車借上料
- □燃料費
- □有料道路通行料
- □駐車料金
- □通信運搬費
- □土産代
- □会場借上料
- □機械器具等借上料
- □委託料
- □講師謝礼
- □飲食費
- □出席者負担金
- □会費
- ☑印刷製本費
- □翻訳料
- □消耗品費
- □新聞雑誌購読料
- □書籍購入費
- □資料購入費
- □固定電話料金
- □携帯電話料金
- □インターネット料金
- □賃金
- □賃借料
- □維持管理費
- □備品購入費
- □その他の費用

市役所など8施設を総合センターに統合
岸田議員以外の賛成多数で可決

公共施設の再編問題を市民参加で7年かけて練り上げてきた四條畷市。「市役所と総合センターは現在の場所で維持」という案がまとまりつつありましたが、4月25日の臨時議会で「市役所など8施設を総合センターに統合することを基本とする」という案を可決しました。

市民参加型の検討経過

市役所や総合センターなど老朽化や耐震化が課題の15施設をどうするか。現市長になって、2016年4月のアンケート調査を皮切りに、2023年5月の計画案の作成を市民参加ですすめてきました。

全国でも例がないほどの

議会の特別委員会での議論（15回）どの内容でしたが、今年1月、役所は今の場所で維持する「なれたこと」が主な理由でした。

議員から提案が

報告書は、「総合センターと市役所などを8施設を総合センターに統合する案が急浮上。議員から費用が安いとする試算が示された」

8施設統合案は

再編検討会が市に提出した報告書は、「総合センターと市役所などを8施設を総合センターに統合する案が急浮上。議員から費用が安いとする試算が示された」

8施設統合案は

「反対」が過半数

この案に対する市民意見募集（2/15～3/14）では、反対が過半数となり、市民合意が得られず、結果となりました。（裏面につづく）

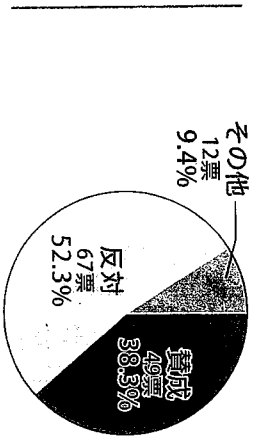
岸田あつこ
市会議員

議会報告

No.157　2023年5月26日号
発行：日本共産党四條畷市議会議員
岸田あつこ
連絡先:090-3495-2192
fkbzy500@cwk.zaq.ne.jp

▶市民2000人にアンケート
▶市民参加のワークショップ（6回＋5回）
▶市長が出向き市民と意見交換（計25回）
▶市民意見募集（パブリックコメント）95人分
▶公共施設再編検討会（8回）
　2022年1月に市に報告書提出
▶議会の特別委員会での議論（15回）
▶市民意見募集（パブリックコメント）128人分

市民総合センターに市役所など8施設を統合する案の賛否



点線枠内に添付

整理番号	

2023年度分

経費の範囲
□調査研究費
□研修費
☑広報費
□広聴費
□要請・陳情活動費
□会議費
□資料作成費
□資料購入費
□通信交通費
□人件費
□事務所費

使途項目
□交通費
□宿泊費
□自動車借上料
□燃料費
□有料道路通行料
□駐車料金
□通信運搬費
□土産代
□会場借上料
□機械器具等借上料
□委託料
□講師謝礼
□飲食費
□出席者負担金
□会費
☑印刷製本費
□翻訳料
□消耗品費
□新聞雑誌購読料
□書籍購入費
□資料購入費
□固定電話料金
□携帯電話料金
□インターネット料金
□賃金
□賃借料
□維持管理費
□備品購入費
□その他の費用

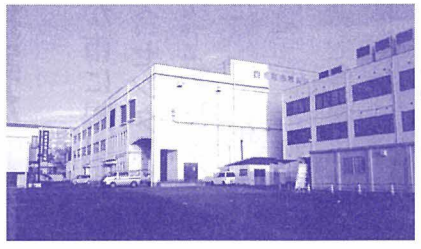
領収書等貼付用紙

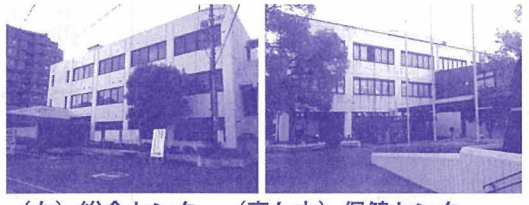
点線枠内に添付

議会での議論や市民意見募集を受けて、4月7日の特別委員会に市が示したのは「総合センターに8施設統合を基本とする」（表）というものです。

総合センターに8施設統合を「基本とする」ということは、市役所の必要スペースを確保しながら、図書館、ホール、会議室等の十分なスペースを具体的に検証し、駐車場の確保や日照権、費用面なども考慮。結果、市民にしっかりとサービスが提供できないとなれば、今後見直しもありうるということです。↖

	議会で提案され、市が決めた施設配置
市民総合センター	市民総合センター用地への配置を基本とする
市庁舎	
教育文化センター	
シルバー人材センター	
老人福祉センター楠風荘	
保健センター	
福祉コミュニティーセンター	
市民活動センター	社会福祉協議会は総合センター用地への配置を基本として協議する 体育館は維持 多目的室はくすのき小へ移転
歴史民俗資料館	現在の場所で維持
グリーンホール田原	現在の場所で維持
忍ヶ丘あおぞらこども園	現敷地を基本に建替整備
南中跡地	南中と東小の体育館を集約した多機能型体育館を整備





（右）総合センター（真ん中）保健センター
（左）総合センター駐車場からの写真

市民合意が得られないまま　賛成多数で可決

日本共産党の岸田あつこ議員は、「市民意見募集で寄せられた意見を尊重し、市役所と総合センターは別々の場所で整備するべき」という立場で質問・討論を行いました。その中で明らかになったのは、駐車場の確保、ホールの大きさ、建物の高さなど、「現段階では詳細はわからない」というものです。

また、4月24日の議会では「市は、総合センターの場所に8施設統合ができると考えているか。費用面も安くできるのか。まちづくりの観点からどうなのか」と問うと、市は「現時点で明確な回答はできない。費用面は、事業を始める際は膨大にかかるが、長期間で考えると一定の削減効果は考えられる」と答えました。↘

岸田議員は討論で、「文化や人を大切にするまちづくりを考えてほしい」と訴えて8施設を統合する案に反対しましたが、岸田議員以外の賛成多数で可決されました。

8施設統合がはっきり決まったわけではない

議会では賛成多数で可決されたものの、課題が解消できないと総合センターへの8施設統合は見直しせざるを得ません。今後もこの計画については駐車場の台数と広さの確保、ホールの大きさ、全体の費用の問題などの課題解消の方策を明確に示すよう、市民が継続的に声を上げていくことが重要だということです。

4月7日の特別委員会で、市長は「市民や議会の合意形成を大切にしていきたい。今後も市民との意見交換の場を設けていく」旨を答弁しています。計画が議会で可決されたとは言え、この計画が市民にとって本当にいいのか、さらなる検討が必要です。

総合センターの用途地域の変更手続きや施設の具体的内容を決める作業は1年程度かかります。その間に、総合センターに8施設の統合が可能か、どんなまちづくりが必要かなど、学習会や意見交換を行っていきたいと思います。

領収書等貼付用紙

2023 年度分

整理番号	3

経費の範囲

- □調査研究費
- □研修費
- ☑広報費
- □広聴費
- □要請・陳情活動費
- □会議費
- □資料作成費
- □資料購入費
- □通信交通費
- □人件費
- □事務所費

使途項目

- □交通費
- □宿泊費
- □自動車借上料
- □燃料費
- □有料道路通行料
- □駐車料金
- □通信運搬費
- □土産代
- □会場借上料
- □機械器具等借上料
- □委託料
- □講師謝礼
- □飲食費
- □出席者負担金
- □会費
- ☑印刷製本費
- □翻訳料
- □消耗品費
- □新聞雑誌購読料
- □書籍購入費
- □資料購入費
- □固定電話料金
- □携帯電話料金
- □インターネット料金
- □賃金
- □賃借料
- □維持管理費
- □備品購入費
- □その他の費用

領収証　岸田敦子　様　No.

★ ¥13,750-

但 議会報告 No.158　2500枚(5月31日納入)

令和5年 6月 2日　上記金額正に領収いたしました

内訳

税抜金額	円
消費税額等(　%)	円

収入印紙

印刷・はがき・オフセット印刷全般
ゴム印・名簿印鑑・パソコンデータ入力
プリントムツ
〒574-0072 大阪府大東市深野4-5-8
TEL 072-871-4612
FAX 072-873-1329

医療・福祉等で働く人への感謝金

5月の臨時議会報告

四條畷市議会は5月18日・24日に臨時議会を開き、18日の議会では新たな議長・副議長・監査委員を選出し、24日の議会では、医療・福祉などの事業所で働く方への感謝金（約1・7億円）が盛り込まれた。24日の議会では、医療・福祉などの事業所で働く方への感謝金（約1億円）も決まりました。

一般会計補正予算を全会一致で可決しました。

常任委員会などの所属は、予算決常任委員会の副委員長・副議長・監査委員・議会運営委員会などの所属も掲載します。

日本共産党の岸田あつこ議員は、左記の通りです。

会派や常任委員会などの所属は、その他の所属委員は、員長に選出され、

今年度、議会の3役に新たに選ばれたのは、議長は森本勉議員、副議長は吉田涼子議員、監査委員は島弘一議員で、それぞれ全会一致で決まりました。

会派結成一覧

○は幹事長

大阪維新の会	○土井一慶	坂本勇基
	柳生駿祐	
政ビジョンの会	○長畑浩則	島弘一
市議会公明党	○吉田涼子	若松正治
よわて美風会	○吉田裕彦	渡辺裕
	森本勉	藤本美佐子
派に属さない議員	岸田敦子（日本共産党）	

委員会の所属議員

○=委員長　△=副委員長

務建水常任委員会	○藤本美佐子	△柳生駿祐
	吉田涼子	渡辺裕
	坂本勇基	島弘一
育福祉常任委員会	○吉田裕彦	△土井一慶
	岸田敦子	若松正治
	長畑浩則	島弘一
	○渡辺裕	△岸田敦子
算決算常任委員会	藤本美佐子	吉田裕彦
	柳生駿祐	若松正治
	吉田涼子	坂本勇基
	土井一慶	長畑浩則
議会運営委員会	○吉田裕彦	△土井一慶
	若松正治	渡辺裕
	長畑浩則	

（委員長・副委員長以降は議席順）

市会議員 岸田あつこ

★四條畷市国民健康保険運営協議会委員
★四條畷市男女共同参画審議会委員
★へすのき広域連合議会議員
★四條畷市交野市清掃施設組合議会議員

医療・福祉・衛生従事者感謝金 対象者に1人3万円

【対象者】医療機関・保育施設・障がい者施設・高齢者施設・ごみ収集などの各事業所の従事者で、同事業所で今年の5月7日まで1年以上働いていた人

【支給時期】事業所への入金は早ければ秋頃、規模の大きい事業所は年内

設の物価高騰対策として、給食費の材料費高騰に対する支援金施設の他に、民間保育所など保育施設の他に、民間保育所などの事業所で働く方への感謝金（約1億円）も盛り込まれました。

4億円も盛り込まれました。

議会報告
No.158　2023年6月2日号
発行：日本共産党四條畷市議会議員
岸田あつこ
連絡先:090-3495-2192
fkbzy500@cwk.zaq.ne.jp

点線枠内に添付

領収書等貼付用紙

2023年度分

整理番号	

経費の範囲
□調査研究費
□研修費
☑広報費
□広聴費
□要請・陳情活動費
□会議費
□資料作成費
□資料購入費
□通信交通費
□人件費
□事務所費

使途項目
□交通費
□宿泊費
□自動車借上料
□燃料費
□有料道路通行料
□駐車料金
□通信運搬費
□土産代
□会場借上料
□機械器具等借上料
□委託料
□講師謝礼
□飲食費
□出席者負担金
□会費
☑印刷製本費
□翻訳料
□消耗品費
□新聞雑誌購読料
□書籍購入費
□資料購入費
□固定電話料金
□携帯電話料金
□インターネット料金
□賃金
□賃借料
□維持管理費
□備品購入費
□その他の費用

点線枠内に添付

市議選の年代別投票率

50歳未満と85歳以上が平均以下

4月23日投開票の市議会議員選挙の投票率は43・79％。身近であるはずの市会議員選挙が、知事選挙と変わらない投票率だったことを受け、市の選挙管理委員会に年代別の投票者数の資料を依頼しました。

16投票所のうち、パソコン上で集計できる5カ所（市役所、忍ケ丘会館、グリーンホール田原、岡山自治会東別館、北谷公園管理棟）の5歳刻みの有権者数と投票者数を出していただき、投票率を計算。投票日当日のみの投票率ですが、表の結果となりました。

5投票所の平均投票率は33・4％。平均以下は50歳未満と85歳以上で、この年代への働きかけが重要になります。

2023.4.23　四條畷市議会議員選挙

岡山地区、田原地区、中野地区（一部含まず）の5投票所の年代別投票率（投票日当日のみ）

	有権者数	投票者数	投票率
18～19歳	633	128	20.2
20～24歳	1,651	295	17.8
25～29歳	1,287	200	15.5
30～34歳	1,233	304	24.6
35～39歳	1,341	355	26.4
40～44歳	1,604	468	29.1
45～49歳	2,331	725	31.1
50～54歳	2,703	930	34.4
55～59歳	2,035	753	37.0
60～64歳	1,510	661	43.7
65～69歳	1,205	534	44.3
70～74歳	1,704	815	47.8
75～79歳	1,497	746	49.8
80～84歳	1,248	513	41.1
85～89歳	595	178	29.9
90～94歳	247	40	16.1
95歳以上	79	6	7.5
	22,903	7,651	33.4

※期日前投票の数は入っていません

平均投票率（33.4%）より低い年齢層

高齢者には投票に行ける条件の確保が重要であり、高齢者施設での投票や交通手段の確保、郵送などの条件緩和などが必要と考えます。

若い層への働きかけは、政治と暮らしの密接なつながりを知る＝有権者教育の強化や若い層向けの政策の充実などが必要と考えます。

政治全体への不信感を取り除いていくことも重要です。政治とカネ、政治家による不祥事、宗教団体との癒着など、政治をゆがめている問題や数の力で押し通す市民不在の政治。自分たちの声が届く実感が持てず、無力さ、あきらめとなっているのではないでしょうか。

政治によって暮らしは豊かにできるという方向性や希望を示すのも、政治にたずさわる人の重要な役割です。少しずつでも果たせるよう努力していきます。

弁護士による法律相談

6月14日（水）午後7時～

日本共産党四條畷市委員会

（市役所北すぐ）

相談をご希望の方は岸田議員（090-3495-2192）までご予約をお願いします。

領収書等貼付用紙

2023年度分

整理番号	4

領収証　岸田敦子　様　No.

★ ¥13,750-

但　議会報告　No.159　2500枚

令和5年　6月　30日　上記金額正に領収いたしました

内訳	
収入印紙	
税抜金額	円
消費税額等（　%）	円

印刷・はがき・オフセット印刷全般
ゴム印・各種印鑑・パソコン作成印刷
プリント ム
〒574-0072 大阪府大東市深野4-5-8
TEL 072-871-4612
FAX 072-873-1329

経費の範囲

- □調査研究費
- □研修費
- ☑広報費
- □広聴費
- □要請・陳情活動費
- □会議費
- □資料作成費
- □資料購入費
- □通信交通費
- □人件費
- □事務所費

使途項目

- □交通費
- □宿泊費
- □自動車借上料
- □燃料費
- □有料道路通行料
- □駐車料金
- □通信運搬費
- □土産代
- □会場借上料
- □機械器具等借上料
- □委託料
- □講師謝礼
- □飲食費
- □出席者負担金
- □会費
- ☑印刷製本費
- □翻訳料
- □消耗品費
- □新聞雑誌購読料
- □書籍購入費
- □資料購入費
- □固定電話料金
- □携帯電話料金
- □インターネット料金
- □賃金
- □賃借料
- □維持管理費
- □備品購入費
- □その他の費用

6月議会　補正予算の報告

商品券第4弾　1人5000円

サポーターズ　10月から実施運行

6月議会が23日に閉会しました。今議会には、一般会計補正予算（第4弾）（第4号）に「令和5年度なわてみんなで頑張ろう商品券」が計上されるなど、市民の願いが前進する施策がありましたので、お伝えします。

岸田あつこ 市会議員

定です。

で、今回は市民1人5000円スケジュールは下表の予

億3600万円を確保しました。商品券の費用約3億円

り入れて、財政調整基金から繰り足らずは市独自のコロナ対策基金の残高約1億100万円、

て、万円が配分されました。加えて、四條畷市には約1億5500万円が交付金を各自治体に支給します。国は、物価高騰対策のいろいろ

毎月のように値上げされています。食料品などに伴い、ガソリンの値上げなど電気料金や

利用は11月～3ヶ月間

商品券配布は10月

日本共産党の岸田あつこ議員は予算決算常任委員会で、「商品券は多くの市民から喜び声が届いたのは確かだが、4回の発行で郵送や事務手数料に合計約2億円かかる見込み。効果検証がされておらず、2億円あれば他の施策ができたのではと思う。例えば、水道料金の値下げは手数料が少額なので、今後は検討を」と述べました。

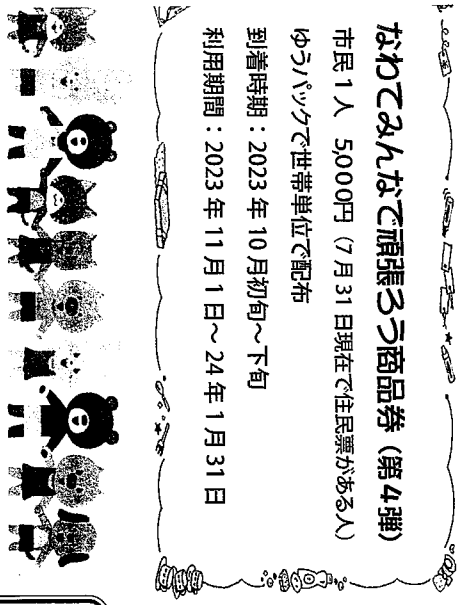
なわてみんなで頑張ろう商品券（第4弾）

市民1人　5,000円（7月31日現在で住民票がある人）

ゆうパックで世帯単位で配布

到着時期：2023年10月初旬～下旬

利用期間：2023年11月1日～24年1月31日



議会報告
No.159　2023年6月30日号
発行：日本共産党四條畷市議会議員
岸田あつこ
連絡先：090-3495-2192
fkbzy500@cwk.zaq.ne.jp

弁護士による法律相談

7月13日（木）　夜7時～

日本共産党四條畷市委員会

（市役所北すぐ）

相談をご希望の方は、岸田議員

（090-3495-2192）　までご予約をお願いします。

点線枠内に添付

領収書等貼付用紙

2023年度分

整理番号	

経費の範囲
□調査研究費
□研修費
☑広報費
□広聴費
□要請・陳情活動費
□会議費
□資料作成費
□資料購入費
□通信交通費
□人件費
□事務所費

使途項目
□交通費
□宿泊費
□自動車借上料
□燃料費
□有料道路通行料
□駐車料金
□通信運搬費
□土産代
□会場借上料
□機械器具等借上料
□委託料
□講師謝礼
□飲食費
□出席者負担金
□会費
☑印刷製本費
□翻訳料
□消耗品費
□新聞雑誌購読料
□書籍購入費
□資料購入費
□固定電話料金
□携帯電話料金
□インターネット料金
□賃金
□賃借料
□維持管理費
□備品購入費
□その他の費用

点線枠内に添付

寝屋川の「乗合い事業」参考にと岸田議員も要望

西部地域で実証運行されていた「デマンドタクシー」。開始後すぐにコロナ禍になったのと、コミュニティバスのバス停を運行ルートにしていたので利用者が広がらず、運行を続けることに疑問の声が上がっていました。

そこで岸田議員は、寝屋川市の「乗合い事業」【自宅から拠点を無料(区域外は有料)で運行】を参考にするよう求めてきました。

市のお出かけサポートタクシー 高齢者・障がい者など対象

市の公共交通会議を経て、補正予算に盛り込まれた「お出かけサポートタクシー」は、寝屋川の乗合い事業を参考に「高齢者、妊婦、障がい者」が利用できる福祉的交通手段とし、自宅から拠点をつなぐ移動支援となるもので、自宅が出発となる点は大きな前進です。

問題は利用料 片道350円と490円

しかし問題は利用料で、「市役所・総合センター」は片道350円、「忍ケ丘駅・四条畷駅」は片道490円に設定。タクシーよりは安いですが、コミュニティバスより負担が大幅に増えます。

お出かけサポートタクシーの利用料と運行範囲

片道350円	・自宅 ⇔ 市役所・総合センター
片道490円	・自宅 ⇔ 忍ケ丘駅・四条畷駅

運行範囲：田原地域と逢坂を除く西部地域全域

対象者　：75歳以上、65歳以上の免許を持っていない人、妊産婦、障がい者（他のサービス利用できる人は対象外）

無料かコミバス料金で運行を！

岸田議員は委員会で、「寝屋川の乗合い事業は昨年度は996万円、今年度は燃油高騰で約1600万円になっているが、走った分だけ払う仕組みにしている。四條畷もその仕組みを取り入れ、無料かコミュニティバス料金で設定を」と求めましたが、市はその考えはない旨を述べました。

岸田議員は、「値段設定を含め市民にアンケートをとりながら、本格導入の判断を」と要望しました。

市民からは、「病院やスーパー行きはないの？」などの声も寄せられています。10月からの実証運行で、この料金でどれくらいの人が利用するかを注視しながら、市民の声を届けていきます。みなさんの率直なご意見をお聞かせください。**※連絡先は表面**

点線枠内に添付

整理番号	5

2023 年度分

経費の範囲	使途項目
□調査研究費	□交通費
□研修費	□宿泊費
☑広報費	□自動車借上料
□広聴費	□燃料費
□要請・陳情活動費	□有料道路通行料
□会議費	□駐車料金
□資料作成費	□通信運搬費
□資料購入費	□土産代
□通信交通費	□会場借上料
□人件費	□機械器具等借上料
□事務所費	□委託料
	□講師謝礼
	□飲食費
	□出席者負担金
	□会費
	☑印刷製本費
	□翻訳料
	□消耗品費
	□新聞雑誌購読料
	□書籍購入費
	□資料購入費
	□固定電話料金
	□携帯電話料金
	□インターネット料金
	□賃金
	□賃借料
	□維持管理費
	□備品購入費
	□その他の費用

領収書等貼付用紙

領収証　岸田敦子　様　No.

★ ¥13,750-

但　議会報告　No.160　2500枚

令和5年　7月　28日　上記金額正に領収いたしました

内訳　円

税抜金額　円

消費税額等（　%）　円

収入印紙

名刺・はがき・オフセット印刷全般
ゴム印・名札印鑑・パソコン年賀状

プリント ム

〒574-0072　大阪府大東市[illegible]
TEL 072-871-[illegible]
FAX 072-873-1329

岸田あつこの一般質問

図書館に行けない人への移動図書館を

日本共産党市会議員の岸田あつこが取り上げた6月議会の一般質問第2弾。今回は、残る2項目をお伝えします。

＜6月議会の質問項目＞

1. 公共施設の再編計画
2. 生理用品のトイレへの設置
3. **移動図書館**
4. **自転車のヘルメット補助制度**

生涯学習と健康維持に読書を

四條畷市内の高齢者施設で働く方から、「以前は図書館に通っていた人が足腰が悪くなって通えなくなったが、高齢者は本好きの人が多い。本を読みたいけど図書館に通えない、本が高くて買えないという人のためにも、移動図書館を考えてほしい」という要望が寄せられました。

これは、高齢者の健康維持という観点にとどまらず、子どもや幅広い年代に喜ばれる施策として積極的に取り入れるべきと思い、法律や他の自治体の例を調べると、大阪府下では20自治体が移動図書館を運行しているようでした。

そこで、四條畷でも「生涯学習と健康維持を目的に、前向きに考えられないか」と問いましたが、市は「対策の必要があるとは思うが、車両が高く、2人以上の人員が必要など課題があり、他の方策を調査研究する」との答弁でした。

市会議員
岸田あつこ

阪南市の移動図書館は400万円

私は、調査した交野市と阪南市の移動図書館の様子を紹介しました（別表）。

（裏面につづく）

移動図書館　大阪府下での取り組みの様子(全部で20自治体)

交野市）
「ブンブン号」H17(2005)年度に購入　899万8500円
維持費(R4)：22万5000円
約3000冊を搭載　ステーションは11カ所
職員2人体制

ブンブン号の中の様子

ゆうゆうセンターの様子　②盤船幼稚園前の様子

阪南市
「ふれあい号」
400万円

持費：保険10万円、ガソリン代5万円未満
500冊を搭載
テーションは11カ所
2回運行　職員2人体制でローテーション

議会報告
No.160　2023年7月28日号
発行：日本共産党四條畷市議会議員
岸田あつこ
連絡先:090-3495-2192
fkbzy500@cwk.zaq.ne.jp

整理番号	

経費の範囲
□調査研究費
□研修費
☑広報費
□広聴費
□要請・陳情活動費
□会議費
□資料作成費
□資料購入費
□通信交通費
□人件費
□事務所費

使途項目
□交通費
□宿泊費
□自動車借上料
□燃料費
□有料道路通行料
□駐車料金
□通信運搬費
□土産代
□会場借上料
□機械器具等借上料
□委託料
□講師謝礼
□飲食費
□出席者負担金
□会費
☑印刷製本費
□翻訳料
□消耗品費
□新聞雑誌購読料
□書籍購入費
□資料購入費
□固定電話料金
□携帯電話料金
□インターネット料金
□賃金
□賃借料
□維持管理費
□備品購入費
□その他の費用

2023年度分

領収書等貼付用紙

点線枠内に添付

（裏面からのつづき）

阪南市の例では、軽トラックサイズで４００万円です。「本を実際に手に取って選べることや、人と交流することも大事」と指摘し、「図書館から一定の距離があったり、坂がある地域の自治会館を拠点とし、月１回でも公民館を回れないか」と問うと、部長や教育長も「同じ思いであり、何らかの方策を考えたい」旨を答弁するものの、「調査研究する」にとどまりました。

自転車ヘルメットに市の補助を！

市「他市の事例を参考に検討する」

年間数十万円でできる！

今年４月１日、自転車用ヘルメットが努力義務となり、自転車用ヘルメットの補助金を支給する自治体が広がっていることを受け、市民から「四條畷でも制度をつくってほしい」との声が寄せられました。

そこで、他の自治体の例を調べると、数千円程度の上限額を設け、数ヵ月～１年などの期間限定としている自治体もありましたが、どの自治体でも「市民の命を守る施策」として実施していると思われます。

私は、要望がたくさん寄せられたことを紹介し、「ヘルメットを着用している市民もおられるものの、まだ少数派であり、命を守るためのヘルメット着用を促進するために補助制度の検討を」と質問。

市は、「今後、他市の動向や事例などを参考にしながら、補助制度等を検討したい」と答弁しました。

自転車ヘルメット補助制度　大阪府下での取り組み例

◎高石市（R5年6月人口56,688人）　H27年度から実施
対象：◎中学生以下のこどもや保護者（※条件あり）
　　◎自転車安全講習会を受講した65歳以上の人
補助金額：上限2,000円（2,000円未満は購入金額を上限）
R4年度　：　172件　343,800円
R5年度　：　6/20までで177件（内40%程度は高齢者）　予算は60万円、300件分

◎泉大津市（R5年6月人口　73,234人）H27年度から実施
対象：6年生以下の子どもと65歳以上の高齢者
購入価格の2分の1　児童2,000円、高齢者3,000円を限度
R3年度　：　74件（児童69件、高齢者5件）*　136,700円
R4年度　：　111件（児童75件、高齢者36件）　228,200円
R5年4・5月の2ヶ月で177件　23万円の予算を超え補正必要に

６月議会で取り上げた質問は、市民から声が寄せられたものですが、市に直接声が届いていないものもあります。ぜひ、みなさんもお気軽に「市長への意見箱」（※）などへご意見をお送りいただき、一緒に施策を前進していけたらと思います。

６月現在、大阪府下で補助制度を実施しているところは12市町村で、私は人口が同程度の高石市と泉大津市の例をとりあげ（別表）、どちらも年間数十万円の費用で実施していることを紹介。再度、制度を作るよう求めましたが、答弁は同じでした。

※市長の意見箱は市役所の本館と東別館、市民総合センター、グリーンホール田原の４カ所に設置されています。また、ホームページからは直接送ることができます。その他、ファックスや郵送も受け付けています。

領収書等貼付用紙

2023年度分

整理番号	6

領収証　岸田敦子　様　No.

★ ¥13,750-

但　議会報告　No.161　A4版　2500枚

令和5年　9月　8日　上記金額正に領収いたしました

内訳	
税抜金額	円
消費税額等（　%）	円

収入印紙

名刺・はがき・オフセット印刷全般
各種ゴム印・各種印鑑・パソコン関連
プリントムツ
〒574-0072 大阪府大東市諸福4-6-8
TEL 072-871-4612
FAX 072-873-1329

経費の範囲

- □調査研究費
- □研修費
- ☑広報費
- □広聴費
- □要請・陳情活動費
- □会議費
- □資料作成費
- □資料購入費
- □通信交通費
- □人件費
- □事務所費

使途項目

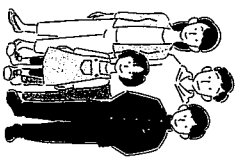
- □交通費
- □宿泊費
- □自動車借上料
- □燃料費
- □有料道路通行料
- □駐車料金
- □通信運搬費
- □土産代
- □会場借上料
- □機械器具等借上料
- □委託料
- □講師謝礼
- □飲食費
- □出席者負担金
- □会費
- ☑印刷製本費
- □翻訳料
- □消耗品費
- □新聞雑誌購読料
- □書籍購入費
- □資料購入費
- □固定電話料金
- □携帯電話料金
- □インターネット料金
- □賃金
- □賃借料
- □維持管理費
- □備品購入費
- □その他の費用

国保運営協議会について
保険料の引き下げを！

国民健康保険制度に関する重要なことを審議する「国民健康保険運営協議会」が8月21日に開かれ、2022年度の国民健康保険（以下「国保」）特別会計決算が報告されました。日本共産党の岸田あつこ議員が委員として出席し、質問等を行いました。国保の施策や課題をお伝えします。

市会議員
岸田あつこ

基金から1・8億円を保



険料の引き下げに活用

22年度の決算見込額は、歳入は56億9943万5円、歳出は56億9594万8千円で、差引8億3525万7千円の黒字、22年度のみでは3千円の黒字です。

日本共産党が長年求めてきた国保の基金を取り崩して保険料を下げる対策を22年度も市は継続し、1億8千万円を繰り入れ、保険料の値上げを抑えました。

それでも保険料は高く、子どもが

加入世帯は27%

8割が所得200万以下

国保加入者は自営業・フリーランス・非正規雇用・無職の方とそれぞれの家族が加入する保険で、約8割が所得200万円以下の世帯です。四條畷市の今年3月末の加入者は18・7%で、加入世帯は27%で、今

もの保険料がかかります。国保は加入者ごとに「均等割」がかかり、無収入の人にも保険料がかけられます。粘り強い運動で子どもは半額になったものの、世帯人数が増えることに負担が増える仕組みになっているからです。

来年度から5回の保険料統一

で保険料が高くなる！

国保の運営は市町村が行い、高すぎる保険料の引き下げや、免制度の充実など、市独自の努力をしてきましたが、国は法律を改定し、2018年度から市町村が国保の運営を都道府県と共同で行うとしました。それを受け、大阪府は2024年度から大阪府下の保険料を

（裏面につづく）

岸田議員は、「生活が苦しく、物価高騰が連続し、生活が苦しい方の相談が増えている状況に思いを寄せ、親身に相談にのることを求めました。

相談が多い「200万円未満の方の所得は100と、「年代は30代、所得は1」で相談に来る人の「支払いが困難」と聞く。

岸田議員は、「相談に応じ、「国保は市町村が行う国保の運営を都道府県と市町村が共同で行うとしました。それを受け、大阪府は2024年度から大阪府下の保険料を

（裏面につづく）

議会報告

No.161　2023年9月8日号
発行：日本共産党四條畷市議会議員
岸田あつこ
連絡先:090-3495-2192
fkbzy500@cwk.zaq.ne.jp

＜岸田議員の一般質問＞

9月議会の一般質問は14日(木)、15日(金)の午前10時～午後5時ごろまで行われます。今回は11名の議員が質問し、岸田議員は9番目、15日の昼前後の予定です。議場での傍聴や動画配信（生中継は字幕あり）の視聴もできます。

岸田議員の質問項目は以下の予定です。

1．学校教育について
①いじめ対策について
②水泳授業とプールの水の管理について
③熱中症予防について
2．自衛隊への名簿提供について
3．公共施設再編について

点線枠内に添付

整理番号	

2023年度分

経費の範囲
□調査研究費
□研修費
☑広報費
□広聴費
□要請・陳情活動費
□会議費
□資料作成費
□資料購入費
□通信交通費
□人件費
□事務所費

使途項目
□交通費
□宿泊費
□自動車借上料
□燃料費
□有料道路通行料
□駐車料金
□通信運搬費
□土産代
□会場借上料
□機械器具等借上料
□委託料
□講師謝礼
□飲食費
□出席者負担金
□会費
☑印刷製本費
□翻訳料
□消耗品費
□新聞雑誌購読料
□書籍購入費
□資料購入費
□固定電話料金
□携帯電話料金
□インターネット料金
□賃金
□賃借料
□維持管理費
□備品購入費
□その他の費用

領収書等貼付用紙

点線枠内に添付

（表面からのつづき）

統一し、市独自の保険料の引き下げや減免制度を認めないとしています。

しかし、法律上、保険料を決める権限は市町村にあるとされています。実際に、吉村知事もこれを認める答弁を府議会で行っているにもかかわらず、一方で統一保険料を推し進め、市町村独自の対策を立てにくい方向で話を進めています。

そうなると、各市町村が保険料引き下げのために一般会計や基金から補助してきた予算がなくなり、このまま何も対策をしなければ、保険料はますます高くなります。

減免の改悪で大幅減少 240世帯が30世帯に！

四條畷市の減免制度は全国トップクラスの充実した内容と評価されてきましたが、減免制度も大阪府に合わせるとし、市は21年度から制度を縮小・改悪しました。

失業等で所得が減った人は所得減少でカバーできているものの、障がい者は軽度の方は対象外になり、家族が4人以上いる世帯やひとり親世帯等も対象が大幅に減少。家計の中で借金や住宅ローンの比率が高い世帯も対象外になり、市独自の減免制度対象者は大幅減となりました（表参照）。

国民健康保険料の減免制度改悪前と後の実態

		（改悪前）2019年度	（改悪後）2021年度	（改悪後）2022年度
大阪府の共通基準	災害（震災・風水害・火災など）	1	0	0
	所得減少（前年比30%以上）	147	219	229
	旧被扶養者（65歳～74歳の方）	6	5	10
	拘禁	3	4	8
	計	**157**	**228**	**247**
市独自の減免	失業等	47	廃止（※）	―
	障がい者	47	20	26
	長期入院	0	廃止	―
	被保険者数が4人以上	14	1	1
	高齢者・寡婦（夫）・母子	53	11	4
	借金・住宅ローン・家賃	83	廃止	―
	計	**244**	**32**	**31**
コロナ減免（2020年度～）		―	98	28
合計		**401**	**358**	**306**

大阪府で統一されれば保険料が高くなり、保険料引き下げの対策も大幅に縮小されます。

日本共産党は、全国知事会も要求している国庫負担の増額や均等割の廃止を国に求めるとともに、大阪府や市町村にも保険料引き下げの対策を求めます。

人間ドック・脳ドック助成制度について

国保加入者の健康保持のための保健事業では、健康診断や糖尿病重症化の予防事業などが行われています。また、人間ドッグや脳ドッグの助成事業も行われています。

助成内容は岸田議員までお問い合わせください。

国保加入者の人間ドック・脳ドックの助成数

	2021年度	2022年度
人間ドック	199	205
脳ドック	42	42

【弁護士による法律相談】
9月15日（金）夜7時～
日本共産党四條畷市委員会
相談をご希望の方は岸田議員までご連絡をお願いします

領収書等貼付用紙

2023 年度分	整理番号	7

領収証　**岸田敦子**　様　No.

★ ¥13,750-

但　議会報告　No.162　A4版　2500枚

令和5年　9月　29日　上記金額正に領収いたしました

収入印紙	内訳	
	税抜金額	円
	消費税額等（　%）	円

名刺・はがき・オフセット印刷全般
ゴム印・各種印鑑・パソコン[illegible]
プリント ム[redacted]
〒574-0072 大阪府大東市深野4[illegible]
TEL 072-871-46[illegible]
FAX 072-873-1329

点線枠内に添付

経費の範囲

- ☐調査研究費
- ☐研修費
- ☑広報費
- ☐広聴費
- ☐要請・陳情活動費
- ☐会議費
- ☐資料作成費
- ☐資料購入費
- ☐通信交通費
- ☐人件費
- ☐事務所費

使途項目

- ☐交通費
- ☐宿泊費
- ☐自動車借上料
- ☐燃料費
- ☐有料道路通行料
- ☐駐車料金
- ☐通信運搬費
- ☐土産代
- ☐会場借上料
- ☐機械器具等借上料
- ☐委託料
- ☐講師謝礼
- ☐飲食費
- ☐出席者負担金
- ☐会費
- ☑印刷製本費
- ☐翻訳料
- ☐消耗品費
- ☐新聞雑誌購読料
- ☐書籍購入費
- ☐資料購入費
- ☐固定電話料金
- ☐携帯電話料金
- ☐ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ料金
- ☐賃金
- ☐賃借料
- ☐維持管理費
- ☐備品購入費
- ☐その他の費用

整理番号	

2023年度分

経費の範囲	使途項目
□調査研究費	□交通費
□研修費	□宿泊費
☑広報費	□自動車借上料
□広聴費	□燃料費
□要請・陳情活動費	□有料道路通行料
□会議費	□駐車料金
□資料作成費	□通信運搬費
□資料購入費	□土産代
□通信交通費	□会場借上料
□人件費	□機械器具等借上料
□事務所費	□委託料
	□講師謝礼
	□飲食費
	□出席者負担金
	□会費
	☑印刷製本費
	□翻訳料
	□消耗品費
	□新聞雑誌購読料
	□書籍購入費
	□資料購入費
	□固定電話料金
	□携帯電話料金
	□インターネット料金
	□賃金
	□賃借料
	□維持管理費
	□備品購入費
	□その他の費用

領収書等貼付用紙

点線枠内に添付

議会報告

No.162　2023年9月29日号
発行：日本共産党四條畷市議会議員

岸田あつこ
四條畷市中野本町1-1　四條畷市役所内
TEL 072－877－2121

連絡先：090-3495-2192
fkbzy500@cwk.zaq.ne.jp

9月議会の議案

介護保険を市単独で実施するための条例など16件中15件に賛成

9月定例市議会が1日～15日に開かれ、1日の本会議には一般会計など6会計の2022年度決算の認定や来年4月から介護保険事業を四條畷市単独で実施するための新規条例など合計20件が提案されました。

日本共産党の岸田あつこ議員は、初日の本会議で採択された16件中15件に賛成しました。主な内容をお伝えします。

国民健康保険決算

1人16800円 基金使い値下げ

昨年度の国民健康保険（以下「国保」）特別会計の決算での特徴は、市は高すぎる保険料を軽減するため国保基金から1億8千万円を使い、国保加入者1人当たり約1万6800円の引き下げをしたことです。

日本共産党が長年求めてきた対策で、コロナ禍や相次ぐ物価高騰で生活が苦しくなった中、大切な決断だったと評価できます。

保険料減免制度の改悪反対

しかし、来年度から大阪府は、府下で保険料を統一しようとしており、保険料が大幅に引き上がることが心配されます。

国保に関わる法律では「保険料を決めるのは市町村の権限」との旨の規定があり、来年度から都道府県内での保険料統一を決めているのは、現段階で大阪府と奈良県、沖縄県しかありません。

大阪府は、市町村独自の保険料減免制度も府下で統一するとし、「全国トップクラス」と評価されてきた四條畷市の減免制度が段階的に改悪され、対象者が激減しています。

岸田議員は保険料の引き下げの対策や、障がい者・ひとり親家庭など配慮が必要な人への減免制度を残すよう、大阪府に働きかけることを求めました。

後期高齢者医療決算

保険料値上げの内容で反対

後期高齢者（75歳以上）医療制度は保険料が2年ごとに上がる仕組みで、昨年度は保険料改定の年で、均等割、所得割、最高限度額とも引き上げとなりました。岸田議員は「物価高騰がつづく中、高齢者もますます生活が苦しくなっており、保険料軽減策を国に求めることを要望する」と述べ、決算に反対しました。

※裏面へ続く

本会議で採決した主な議案の態度

○＝賛成、×＝反対

	無会派	維新	ビジョン	公明党	葵風会
	岸田（共産）	柳生・坂本 土井	長畑・島	若松・吉田	藤本・吉田 渡辺・森本
2022年度　国民健康保険特別会計決算の認定	○	○	○	○	○
2022年度　後期高齢者医療特別会計決算の認定	×	○	○	○	○
介護保険を市単独で実施・運営するための関係条例（5件）	○	○	○	○	○
土地改良事業分担金等徴収条例の制定	○	○	○	○	○

維新：大阪維新の会、ビジョン：畷ビジョンの会、公明党：市議会公明党、葵風会：なわて葵風会（森本議員は議長のため採決は不参加）

【弁護士による法律相談】

10月12日（木）　夜7時～

日本共産党四條畷市委員会

相談をご希望の方は、岸田議員までご予約をお願いします。

携帯（090-3495-2192）

整理番号	

経費の範囲
□調査研究費
□研修費
☑広報費
□広聴費
□要請・陳情活動費
□会議費
□資料作成費
□資料購入費
□通信交通費
□人件費
□事務所費

使途項目
□交通費
□宿泊費
□自動車借上料
□燃料費
□有料道路通行料
□駐車料金
□通信運搬費
□土産代
□会場借上料
□機械器具等借上料
□委託料
□講師謝礼
□飲食費
□出席者負担金
□会費
☑印刷製本費
□翻訳料
□消耗品費
□新聞雑誌購読料
□書籍購入費
□資料購入費
□固定電話料金
□携帯電話料金
□インターネット料金
□賃金
□賃借料
□維持管理費
□備品購入費
□その他の費用

2023年度分

領収書等貼付用紙

点線枠内に添付

※表面より続く

介護保険の新規条例 保険料は来年1月に示される予定

来年度から、介護保険制度をくすのき広域連合（四條畷市・守口市・門真市で運営）から四條畷市単独で実施するための新しい条例が5件提案されました。

条例の対象となる市内の施設は居宅介護支援事業所（18カ所）、地域密着型サービス事業所（9カ所）、地域密着型介護予防サービス事業所（5カ所）です。

地域密着型サービスは、現在は守口・門真にある施設でも利用できますが、市単独になると四條畷の市民は市内の施設しか利用できなくなります。ただし、現在利用している人は引き続き守口や門真の施設を利用できると回答がありました。

介護保険料や必要なサービスは現在検討中で、来年1月ごろに示される予定です。

「介護保険法」で決まっている介護保険利用の大まかな流れ

①市役所に認定申請をします

②認定員が自宅を訪問して、認定の資料をつくります

③約1か月で認定通知が来ます
容態に応じて要支援1・2要介護1～5があります

④介護度にしたがってケアマネージャーとケアプランをつくります

⑤ケアプランにしたがっていろいろな介護が受けられます

ご不明な点は岸田あつこ議員にお尋ねください

日本共産党は「くすのき広域連合」設置に反対

日本共産党は、介護保険制度を広域連合で実施すると議会に提案された1999年3月議会で、市民が身近な相談やサービスが受けられなくなってしまう恐れや市独自で実施するより保険料や利用料が高くなったり、サービスが低いところで実施される危険性などを指摘し、広域連合での実施に反対しました。

広域連合解散の要因には指摘した問題点も含まれており、共産党の訴えの正しさが証明された結果となりました。

なお、一般会計決算の認定は10月3～5日に開かれる予算決算常任委員会に付託され、審議されます。

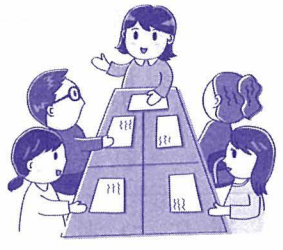
議会は委員会付託をして 市政のチェック機能の発揮を！

四條畷市議会では、市長から提案される議案の審議が軽視され、議会初日に採決することが当たり前になっていますが、近隣市の議会は委員会付託が当たり前です。（下表）

議会は、その案件が市民にどんな影響を与えるか、まちづくりに必要なものかなどを明らかにし、問題点の改善を求めて市長に考え直させる権限を持っています。

委員会は質問時間や回数に制限がありませんが（一部制限あり）、本会議は質問は「2回まで」と制限されているので、問題点を十分明らかにできません。

岸田議員は1日の本会議で、「四條畷のように市長から出された議案を本会議初日に通すのは、市政のチェック機能を十分に果たさず、職務怠慢と批判されても仕方のない行為であり、議案をしっかりと審議することが市民の安全安心にもつながることと意識して、議案審議に臨んでいただきたい」と述べました。



近隣市の9月議会での委員会付託の比較

	四條畷	門真	大東	寝屋川	守口
議案数（報告・人事・議会議案を除く）	15	22	14	26	23
委員会付託の数	1	21	14	26	23

※枚方は市長選、交野は市議選があり9月議会の開会が遅いため比較できず